

俳句の会「芦火」

☆柑蘆同人誌「芦火」第722号（令和六年四月号）表紙

- ・夏の季語：「卯の花（花卯木）」（初夏・植物）
- ・来月号（五月号）の兼題（俳句では五月～七月は夏になります）。



<卯の花（花卯木）>

空木の花のこと。開花は五月中旬～六月頃。白く清々しい花を咲かせる。古歌には月光のようとも雪のようとも詠われる。旧暦四月（卯月）ころ咲くことからこの名がある。茎が空洞なので空木（うつぎ）ともいう。「夏は来ぬ」の唱歌にも歌われているように、夏の訪れを感じさせる花である。

（子季語）空木の花、花卯木、初卯の花、卯の花月夜、卯の花垣

季語「卯の花」を詠った有名俳人の句に以下のようなものがあります。

- ・卯の花も白し夜なかの天の川 言水
- ・卯の花やくらき柳の及びごし 芭蕉
- ・卯の花をかざして関の晴着かな 曾良
- ・卯の花のこぼるる露の広葉かな 蕪村
- ・卯の花は日もちながら曇りけり 千代女
- ・卯の花や茶俵作る宇治の里 召波
- ・卯の花や盆に奉捨をのせて出る 漱石

\*\*\*\*\*

## ☆高得点者および高得点句

\*前月の清記表に記載された13名の91句のなかから互選の結果、以下の同人が高得点者となりました。併せて高得点句も掲載します。

<高得点者(敬称略)>

16点 温州、15点 草炎、14点 穂心、13点 恵吾、  
12点 史浩、碧亥、勝、11点 緑汀、善富

<高得点句(5点以上)>

- ・梅一輪ほころび妻の退院す／碧亥・・・7点
- ・幼児の握りしめたるつくしんぼ／穂心・・・6点
- ・巨勢路行く畔の細道蔭の臺／善富・・・5点
- ・黒板のチョークを収め卒業す／史浩・・・5点
- ・梅一輪二輪三輪能登は雪／草炎・・・5点

<4点句(惜しい!もう少しで5点)>

- ・隙間風吹けど半眼阿弥陀仏／温州
- ・裂帛の声春寒の道場に／緑汀
- ・しゃぼん玉大仏殿の屋根越ゆる／温州
- ・土こそよ親方語る植木市／勝
- ・梅が香や仲見世覗く異邦人／穂心

\*\*\*\*\*

## ☆その他のトピックス

①「散歩道の自然～写真解説」：安本緑汀

今月号では「どんぐり」を取り上げ解説されています。



\*「どんぐり」は子供たちが大好きですが、殆どの櫂や椎は我が国の山地に自生しているそうです。「どんぐり」の識別はキノコに次いで難しいとのこと。

○右上：アラカシ（粗櫨）

- ・常緑高木で20m位になる。幹は暗緑灰色。堅果は秋に成熟。1.5～2cm程の楕円球形で穀斗（袴）には6～7個の縞模様がある。関西で櫨といえばこれを指すくらい多い。公園、庭園、建材に。

○右下：シラカシ（白櫨）

- ・常緑高木で20m位になる。幹は帯緑暗色でなめらか。堅果は秋に成熟。1.5～2cm位。浅い椀型の穀斗は6～8個の縞模様がある。東京で櫨といえばこの白櫨を指すくらい多い。公園、庭園、建材に。材が白いのでこの名がある。

○左上：ウバメガシ（姥目櫨）

- ・通常5～6mの常緑樹。生垣としての利用が多い。堅果は年内はごく小さく越冬して翌年秋に成熟、1～2cmの卵形で穀斗は椀型で鱗模様。実は食べられる。材は堅いので備長炭として有名な良質の木炭の材料にされている。

○左下：マテバシイ（馬刀葉椎）

- ・常緑高木で15m位になる。暖地性で紀伊半島、四国、九州に分布する。葉は大きく10～20cm程の革質楕円形で6月頃開花、翌年の秋に成熟し長さ2～3cmの長楕円形の堅果になる。穀斗は皿型で鱗模様。実は食べられる。殻はとても堅いが炒って割ると中の実はあくが無くふかし芋に似た味がするとのこと。これで作った焼酎もある由。公園、庭園、建材に。

②「緑汀さんの『散歩道の自然』」：後藤碧玄

- ・今月はお休みです。

③「清記を終えて」：穂永穂心

編集者（発行人）の穂心さんが、学生時代所属していた硬式テニス部の創部百周年祝賀事業の準備のために訪れた和歌山大学附属図書館の三階のミーティングルームから見える景色について紹介されています。

南西側には加太の先の友ヶ島、紀淡海峡、淡路島、南側には西浜から雑賀崎、和歌浦、海南、更には紀水道と四国が見えたとのことでした。

また、北側の窓からは、尾久土先生ゆかりのパラボラアンテナも見えたとのことでした。栄谷学舎は風光明媚な高台にあることがわかりました。機会があれば是非訪問したいものです。

④以下の方々より近況報告他がありました。

- ・北草炎様 ・山下勝様 ・河本要様

\*\*\*\*\*

### <俳句の会「芦火」概要>

- ・会員は柑芦会会員
- ・現在の会員は大学3期卒から25期卒の13名
- ・昭和38年（1963年）結成・・・約60年の歴史
- ・会員の作句は通信俳句誌「柑蘆同人誌・芦火」に掲載され毎月各人に配付
- ・創刊以降毎月発刊。令和4年（2022年）6月に第700号発刊。
- ・50号ごとに句誌を発刊。令和4年5月に「芦火第14号句集」発刊
- ・創刊時からの延べ会員数、72名（高商32名、高商教授1名、大学39名）

<編集者・コンタクト先および会費>

- ・編集者：穂永 千秋（大学17期）（俳号：穂心）  
メルアド：[suishin2010@dream.ocn.ne.jp](mailto:suishin2010@dream.ocn.ne.jp)／携帯：090-9887-2513
- ・その他のコンタクト先：
  - ・山下 勝（大学14期・前編集者）（俳号：勝）  
メルアド：[yama723@nifty.com](mailto:yama723@nifty.com)／携帯：090-1349-6727
  - ・平林 義康（大学20期）（俳号：温州）  
メルアド：[hirabayashi9497@yahoo.co.jp](mailto:hirabayashi9497@yahoo.co.jp)／携帯：090-8525-7293
- ・会費：年会費1万2千円

以上

（文責：平林 温州）